

## 入札監視委員会の審議概要について

平成30年度第2回中国運輸局入札監視委員会が開催されましたので、審議概要を以下のとおりお知らせいたします。

開催日及び場所	令和元年11月19日 中国運輸局 会議室	
委員	水中 誠三 (水中綜合法律事務所 弁護士) 木谷 直俊 (広島修道大学 名誉教授) 三井 正信 (広島大学大学院 教授)	
審議対象期間	前回報告分以降 ~ 令和元年9月末	
抽出案件	総件数 39 件	(備考)
一般競争	17 件	
通常指名競争	0 件	
随意契約	22 件	
委員からの意見・質問、それに対する回答等	意見・質問	回答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申又は勧告の内容	特になし	

# 令和元年度 中国運輸局入札監視委員会名簿

(構成:3名)

委員会役職	氏名	職業
委員長	水中 誠三	弁護士
委員	木谷 直俊	広島修道大学 名誉教授
委員	三井 正信	広島大学大学院 教授

質問	回答
一般競争入札	
【広島運輸支局他で使用する電気需要について】	
電力自由化の影響により来年以降参入してくる電力会社は増えるか。	来年以降引き続き入札を行うが、中国管内全ての事務所に電力を供給できる会社は少ないと思われるため、来年度契約についても応札者数は変化がないと思われる。
一般競争入札方式にしたことにより、どのくらい負担が減ったのか。	当局負担分で約11%の負担減。
【電子複合機賃貸借及び保守契約】	
1者応札を解決できる見込みがあるか。	事業者に聞き取りをしたところ、他メーカーの機器保守は保証は出来ないと言われており、1者応札の現状は続く可能性がある。
毎年1社応札で単価を上げられたりすることはないか。複写機の保守期間を4年契約にしたらあとから料金があがることを防げるのではないか。	複合機のリースだけで入札をした場合、印刷1枚あたりの保守単価が上がる可能性があるため、保守金額(予定印刷数量による金額)とリース金額を一緒にして入札をしている。保守契約は単年度予算なので、2年目からは保守契約を別に契約しているが、1枚あたりの料金(単価)を定めており、単価の金額は原則変更が無い。
【一者応札について】	
一般競争入札で努力した点は。	文具の購入契約については文具を取り扱う業者が多いため積極的な声かけをしている。自家用電気工作物保安管理業務は産業保安監督部が出している事業者一覧をもとに調査を行ったが、複数年契約にしか対応しないなど、対応可能な事業者がなかった。
【企画競争方式について】	
企画書の提出者数が多い企画はどういう特徴があるのか。	ノウハウがあるものについては取りかかりやすいため提出者数が多い。またやりがいがある企画など。
企画書提出者が1者の企画はどういった理由で提出者が少ないのか。	事業が多々あり、企画提案書提出の時期が被っていたため。

(参考)

入札監視委員会は、入札及び契約の過程並びに契約の内容の透明性を確保するために、平成13年4月1日から施行された「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」(平成12年11月27日法律127号)及び「公共工事の入札及び契約の適正化を図るための措置に関する指針」(平成13年3月9日閣議決定)に基づき、中国運輸局に設置されています。